



平成23年3月 発行 徳島県教育委員会

Contents

教育委員からのメッセージ	—1
新学習指導要領改善のポイント	—2
キャリア教育・職業教育について	—2
平成22年度文部科学大臣優秀教員表彰について	—3
平成22年度徳島県教育委員会関係職員表彰について	—3
平成22年度徳島県藍青賞受賞者一覧	—4
“あわ”じんけん講座について	—5
障害者在籍状況調査について	—6
教員免許更新制について	—6
「コンプライアンスハンドブックケース集」について	—7
公益通報制度のお知らせ	—7
徳島県立みなと高等学園について	—8
新教育委員の紹介	—8
「学校支援ボランティアハンドブックとくしま」について	—8

教職員に期待するもの — 教育委員からのメッセージ —

佐藤 盛仁 委員長



少子高齢化の進行や、国際化、情報化の急激な進展により、社会情勢が大きく変化する中、教育の課題も複雑、多様化し、教育に寄せる期待もますます大きくなっています。

このような時代の中で、教職員の皆様には、時代に即応して変わらなければいけないものと、いつの時代にも変わってはいけないもの、この2つを見極める目を持ち、しっかりとした理念を持った教育活動を行っていただきたいと願っています。

いよいよ4月からは、小学校において新学習指導要領が全面実施されます。この度の導入に際し、円滑な運用をお願いするとともに、指導方法の更なる検証・改善を重ね、本県の子どもたちの「知・徳・体」の調和のとれた健全な育成のために、なお一層の御努力、ご活躍を心より期待いたします。

西池 氏裕 委員長職務代理者



職業そのものには、高低、貴賤はありえない。だが、教師という職業を選択した人は崇高な決断をしたのだと思う。教師という職業の成果が、自己の栄達や富貴ではなく、未来を託する児童生徒を育成することのみに存在するから。教職を志望する若者は温度の差こそあれ、そのことを覚悟した決意したはずである。現

代は「地域の時代」を迎えつつある。教育の世界も同じである。「地域の時代」における教育の最も大きな変化は、地域々々で教師や教育行政に携わるものが、自分達の頭で考えて教育を押し進めねばならぬことである。是非1人1人が徳島の教育の理想を頭に描き、それに向かって進んでいくことを訴えたい。初心の情熱をしっかりと持続することを訴えたい。

水口 艶子 委員長職務代理者



「なぜ、教師を目指したのですか？」と尋ねると、小・中学校時代の先生の思い出を話される人は多い。温かいまなざしや笑顔で一生懸命対応してくださった体験は大きな励みとなり、その人の生き方をも左右しています。忙しい教育現場でひとりひとりを思いやることは大変だと思いますが、日本の社会を担う力強い大人に育てるために、大きな目標を掲げて出発した初心を忘れず、何年たっても自らを律し、その方向に歩んでいきたいと思えます。子供たちは将来、どのような場で活躍するかわかりませんが、出会った先生方の価値観や真摯な姿は「生きる姿勢」として脈々と次世代に繋がっていくものだと思います。

佐藤 紘子 委員



就学前教育も含め学校現場においては、教育の理念である「生きる力」の育成を踏まえつつ、新教育課程の先行実施や全面実施等に向けご尽力されていることと思えます。学力の向上や新しい分野に成果をあげられている様子も見られますが、社会全体の教育に対する期待は以前にも増して大きいところがあります。そういった中でも、「豊かな心と健やかな体」を育むことは、様々な分野で大きく変わる社会にあって、最も求められている「生きる力」の神髄ではないでしょうか。教職員一人一人の磨き合い高め合う豊かな感性と学校の総力で臨む日々の地道な実践こそ、社会を生き抜く自己の確立を持った子どもたちの育成には欠かせないものではないかと思っています。

筒井 直典 委員



日本の社会はあらゆる分野において大きな変化を求められています。そのため教育現場にあっても教育内容の変化や、新たな教育課題への対応が求められています。それは次の時代を担う子供たちに厳しい社会を生き抜ける力を身につけさせる事が重要だからです。しかし時代が変わっても、変わることにない大切なもの、すなわち先生方の「熱い思い」を子供たちに伝えていただく事も重要です。先生方のその熱い思いは、メッセージとなって子供たちの心に残り生涯の宝になると考えます。教育の持つそのような役割の重要さを、すべての関係者と共に再確認したいと思えます。

平成23年度 小学校で新学習指導要領 スタート！

「生きる力」をはぐくむという理念は新しい学習指導要領に引き継がれますが、教育内容改善のポイントは次のとおりです。

- 言語活動の充実
 - 伝統や文化に関する教育の充実
 - 体験活動の充実
 - 社会の変化への対応
 - 理数教育の充実
 - 道徳教育の充実
 - 小学校における外国語活動
- 〔 情報教育、環境教育、ものづくり、キャリア教育、食育 〕
〔 安全教育、心身の成長発達についての正しい理解 〕



キャリア教育・職業教育について

近年、若者の職業意識・職業観の未成熟さなどが指摘される中、キャリア教育の充実が求められており、平成23年1月31日に中央教育審議会から、「今後のキャリア教育・職業教育の在り方について」が答申されました。

県教育委員会としましては、国の動向等を踏まえるとともに、インターンシップの充実等、キャリア教育の推進に取り組んでまいります。

各学校においては、児童生徒の社会的・職業的自立に向けて、教育活動全体を通じて発達段階に応じたキャリア教育の取組をお願いします。

1 キャリア教育・職業教育の必要性

「学校から社会・職業への移行」が円滑に行われていない。

- ・非正規雇用 約32%
- ・無業者 約63万人
- ・早期離職 高卒4割、大卒3割、短大卒等4割

「社会的・職業的自立」に向けて様々な課題がある。

- ・コミュニケーション能力等職業人としての基本的能力の低下
- ・職業意識・職業観の未熟さ
- ・進路意識・目的意識が希薄な進学者の増加

2 キャリア教育・職業教育について

キャリア教育とは

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

職業教育とは

一定又は特定の職業に従事するために必要な知識、技能、能力や態度を育てる教育

3 発達段階に応じた体系的キャリア教育

○ 各発達段階の推進の主なポイント

幼児期

・自発的・主体的な活動を促す。

小学校

・社会性、自主性・自律性、
関心・意欲等を養う。

中学校

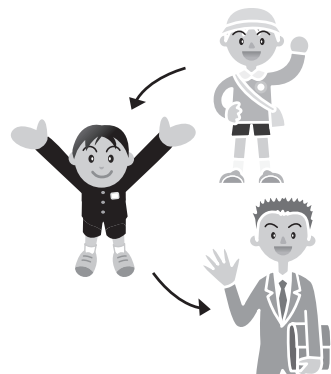
・社会において自らの役割や将来の生き方・働き方等を考えさせる。
・目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定へ導く。

高等学校

・生涯にわたる多様なキャリア形成に必要な能力や態度を育成する。
・勤労観・職業観等の価値観を形成・確立する。

特別支援
学校

・個々の障害の状態に応じたきめ細かい指導・支援の下で、適切なキャリア教育を行うことが重要である。その際、個別的教育支援計画を活用するなど学校は進路指導の充実に努めることが重要である。



※文部科学省のホームページからダウンロードするなどして是非一度、「今後のキャリア教育・職業教育の在り方について」(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1301877.htm)をご覧ください。

平成22年度文部科学大臣優秀教員表彰について

文部科学省は、平成18年度より学校教育に顕著な実績を挙げている教育職員を表彰しています。

平成22年度は、全国で879名、本県からは8名の方々が表彰され、2月17日に表彰伝達式が県庁で行われました。

被表彰者のお名前とご功績の概要は、次のとおりです。

○中野 裕文教諭（徳島市加茂南小学校）

個に応じた指導法の工夫等に意欲的に取り組み、どの児童にもわかりやすく、やる気の起こる授業を展開し、本県小学校理科教育の推進に大きく貢献した。

○中野 徳子教諭（北島町立北島小学校）

特別支援教育において、専門機関、病院等と密接に連携を図るとともに、保護者の願いや子どもの将来について考える機会を積極的に設け、顕著な実績をあげた。

○黒島 貞子養護教諭（東みよし町立三好中学校）

児童生徒の疾病の発見・予防・処理・救急看護等を適切に行い、絶大な信頼を得るとともに、長年、特別支援教育や生徒指導の推進役として重要な役割を果たした。

○杉本 千恵指導教諭（徳島市富田中学校）

常に全校的視野に立ち、卓越した統率力・企画力・指導力を発揮して、組織の活性化や教員の資質の向上に努め、顕著な実績をあげた。

○株木 正彦教諭（阿南市立羽ノ浦中学校）

数学科において、生徒の学力を向上させるために指導方法の工夫・改善に努め、個に応じた指導等により、生徒のやる気を引き出し、学力の向上に顕著な実績をあげた。

○岩脇 真二教諭（徳島県立脇町高等学校）

長年にわたり、女子ソフトテニス部顧問として卓越した指導力を発揮し、全国大会で度重なる入賞を果たす等、輝かしい実績をあげた。

○中島寿美子指導教諭（徳島県立徳島科学技術高等学校）

生徒の資格取得、関係諸機関との連携による活動、職員の授業力の向上等を率先垂範して行い、学校全体の活性化に大きく貢献した。

○天羽 礼子教諭（徳島県立板野支援学校）

長年にわたる、特別支援教育についての豊富な知識と技能をもとに、一人ひとりのニーズに応じた指導や学部の運営を積極的に行い、顕著な実績をあげた。

平成22年度文部科学大臣優秀教員表彰伝達式



平成22年度 文部科学大臣優秀教員表彰伝達式

平成22年度 徳島県教育委員会関係職員表彰について

表彰された皆様方に
心からお祝い申し上げます。

◆グループ表彰

○文化の森開園20周年記念事業担当職員一同

職員一同優れた企画力で文化の森開園20周年記念事業に取り組み、成功に導いた功績

○徳島県立城ノ内中学校・高等学校教職員一同

教職員一丸となって中高一貫教育に取り組み、知・徳・体に調和のとれた人材の育成に努めた功績

○徳島県立小松島西高等学校教職員一同

教職員一丸となって魅力的な専門高校づくりに取り組み、地域振興に多大な貢献を行った功績



平成22年度徳島県藍青賞受賞者一覧

徳島県藍青賞は、新しい時代をひらくたくましく心豊かな徳島の子どもの育成を期して、地域社会におけるボランティア活動等、自然体験・勤労体験学習等、児童会・生徒会活動等、困難を克服しての学業精励、人命救助等、運動競技、研究・制作・表現活動等、創意に満ちた教育活動の各分野において、優れた実績をあげた学校・園、グループ・団体、個人及びその指導者等に贈られるものです。

平成22年度は、次の個人、団体が受賞されました。



平成22年度前期表彰式

《 前 期 》

○運動競技

(グループ・団体)

鳴門K A Cスポーツ少年団クラブ

女子4×100mリレーチーム

川内中学校 サッカー部

小松島中学校 男子新体操部

美馬・岩倉中学校 女子ソフトボール部

藍住中学校 柔道部

板野中学校 弓道部

城北高等学校 男子ソフトボール部

城北高等学校 男子ライフル射撃部

城ノ内高等学校 男子登山部

城ノ内高等学校 女子登山部

城西高等学校 男子射撃部

城西高等学校 女子射撃部

徳島科学技術高等学校 男子ソフトボール部

脇町高等学校 女子ソフトテニス部

盲学校 グランドソフトボール部

(個人)

撫養小学校

徳島中学校

城西中学校

川内中学校

川内中学校

鳴門市第一中学校

鳴門市第一中学校

鳴門市第二中学校

土成中学校

阿波中学校

阿波中学校

北島中学校

北島中学校

藍住中学校

板野中学校

板野中学校

聾学校

城南高等学校

徳島北高等学校

城西高等学校

小松島高等学校

小松島高等学校

直 江 こころ

水 口 恭 兵

松 井 令 奈

安 藝 文 哉

笹 田 絵里佳

浜 淵 菜 緒

畠 田 理 沙

岡 村 理 紗

相 原 利 紀

大 島 拓 海

松 島 功 祐

奥 野 智 士

高 林 由 佳

田 北 健太郎

竹 盛 沙 希

松 長 眞 子

村 尾 茉 優

安 達 瑛 香

藤 倉 み き

田 中 美 穂

榎 本 昌 保

津 川 武 士

小松島西高等学校

小松島西高等学校

勝浦高等学校

海部高等学校

川島高等学校

脇町高等学校

脇町高等学校

美馬商業高等学校

池田高等学校

吉 川 嘉 斗

小 川 真太郎

住 友 尚 人

田 中 海 周

高 橋 みづ江

大久保 有 絵

大 崎 幸 歩

上 村 和 生

安 宅 麻 貴

○研究・制作及び表現活動等

(グループ・団体)

城ノ内高等学校 囲碁将棋部

(個人)

城ノ内中学校

城ノ内中学校

城ノ内高等学校

城ノ内高等学校

城ノ内高等学校

城ノ内高等学校

城南高等学校

徳島商業高等学校

徳島商業高等学校

徳島商業高等学校

徳島商業高等学校

山 田 雄 大

野々瀬 なつみ

日 下 真里奈

蘆 住 真 歩

植 田 菜 月

森 江 太 一

野 間 隆 礼

高 橋 彩 子

鈴 木 美 和

中 野 絵理加

大 野 由美子

○創意に満ちた教育活動

(グループ・団体)

喜来小学校 劇団喜らり

《 後 期 》

○地域社会におけるボランティア活動等

(学校・園全体)

高志小学校

(グループ・団体)

羽ノ浦中学校 マンドリン部

徳島中央高等学校 とくしま中央一座

○運動競技

(グループ・団体)

北島中学校 陸上部

生光学園中学校 新体操部

徳島県国体ゴルフ女子選抜チーム
 徳島県国体弓道少年男子選抜チーム
 徳島県国体弓道少年女子選抜チーム
 徳島県国体ソフトテニス少年女子選抜チーム

(個人)

城ノ内中学校	川口哲生
鳴門中学校	金森博至
鳴門教育大学附属中学校	國見哲平
城西高等学校	高橋誠
城西高等学校	三木江里加
富岡東高等学校	武知実波
那賀高等学校	中西遼
鳴門高等学校	樫原功輝
鳴門高等学校	小山晶
池田高等学校	谷藤広基
生光学園高等学校	中田恵莉子
生光学園高等学校	寺井実希
盲学校	数枝木誠

○研究・制作及び表現活動等

(学校・園全体)

城ノ内中学校

(グループ・団体)

八万南小学校 ウインドアンサンブル

国府小学校 マーチングバンド部

加茂名中学校 吹奏楽部

川内中学校 吹奏楽部

国府中学校 吹奏楽部

城南高等学校 美術部

城西高等学校 アグリ城西

小松島西高等学校

TOKUSHIMA 雪花菜工房

(個人)

富岡小学校	黒田卓
川田小学校	住友桜子
八幡小学校	矢部優花
箆蔵小学校	松本汐那
徳島中学校	小川大地
加茂名中学校	小賀野みつ
小松島中学校	工藤あさひ
阿南中学校	大川実咲
阿波中学校	前田えみり
勝浦中学校	中尾愛
城ノ内中学校	國安泰気
徳島文理高等学校	十川和樹
城南高等学校	森岡真菜
城ノ内高等学校	蘆住真歩
徳島科学技術高等学校	田淵栄佑
脇町高等学校	藤本真希
脇町高等学校	栗飯原貴人

○創意に満ちた教育活動

(グループ・団体)

川内北小学校 演劇クラブ

○指導者

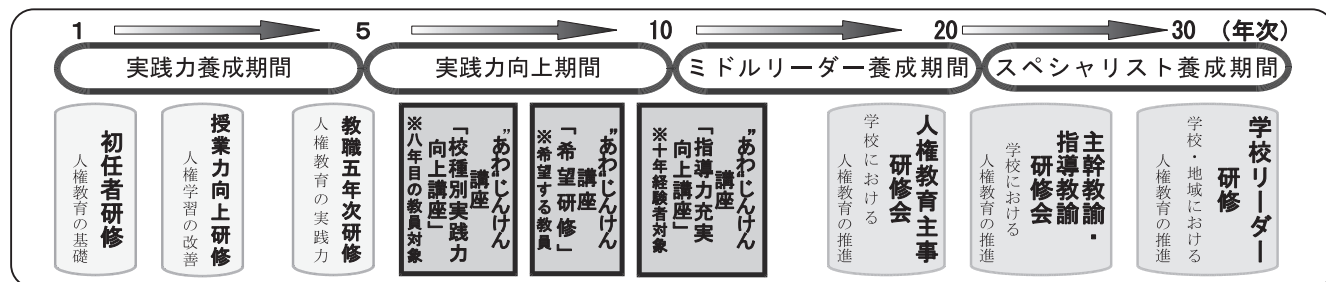
城ノ内中学校	鶴本正道
徳島陸上競技協会	林英司
加茂名中学校	仁宇暁子

“あわ” じんけん講座について

～人権教育に関する
教職員研修の改善・充実に向けて～

「人権教育のための世界計画」も、平成22年1月から、“高等教育及び教員・公務員等の人権研修”を重点目標とする第2段階に入り、教職員の人権研修の充実が求められています。人権教育課では、研修体系を見直し、従来の基本研修や職務研修と“あわ”じんけん講座を関連させることにより、人権教育における研修を教職員のライフステージに応じた内容となるよう体系的に整え、教職員の人権意識の高揚と、本県の人権教育のレベルアップをめざしています。各学校におきましては、人権教育に関する各研修講座や研究大会等の成果の活用を図り、教職員のライフステージに応じた校内研修の改善・充実に努めていただきますようお願いいたします。

○教職員のライフステージに応じた人権教育に関する研修



○平成22年度“あわ”じんけん講座の内容

【指導力充実向上講座（10年経験者対象）】

基本研修である10年経験者研修の共通研修に位置づけ、夏期休業日中に、コリアタウン（大阪）、大島青松園（香川）、むつみ会館（徳島）の3会場に分かれて、フィールドワークや当事者に学ぶ現地研修を実施しました。



《感想》「辛い思いをしてきた私たちは、生存競争や差別なしにここで安らかに過ごせた。」という言葉に胸をつまらせました。人間はどうあるべきなのか根本から考えていきたいと思えます。（大島青松園参加者）

【校種別実践力向上講座（8年目の教員対象）】

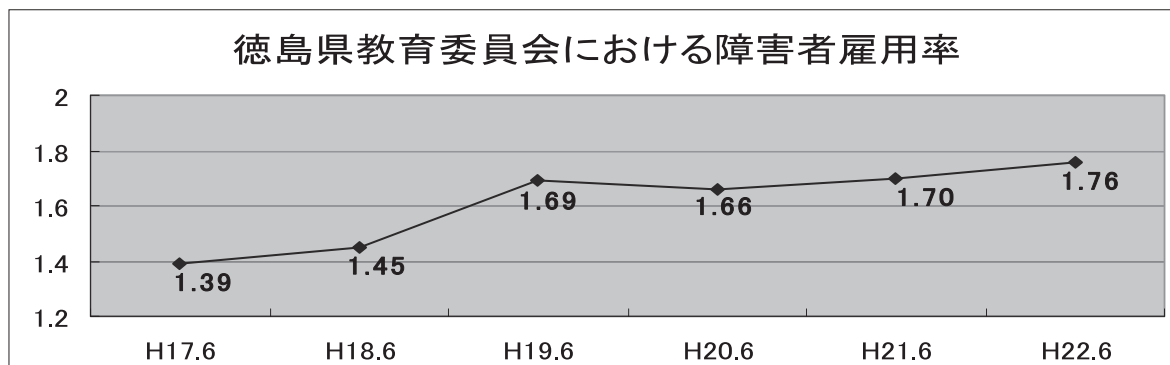
人権学習・指導内容・方法の改善・充実を図るため、夏期休業日中に校種別に研修会を実施しました。講師による講義と指導主事による演習により実践力を高めました。
《感想》同じ班の人と協力して取り組む中で仲間づくりの大切さ、自分ができない部分を補充していただき、仲間の大切さを久しぶりに実感できた。

【希望研修（希望する教員対象）】

指導方法の工夫改善を図ることを目的として、体験的参加型学習を活用した講座を実施しました。
《感想》人とコミュニケーションをとることの大切さと楽しさを改めて実感した。これ子どもたちに伝えられるような実践をしていきたい。

障害者在籍状況調査について

徳島県教育委員会では、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、障害者の雇用に取り組んでまいりましたが、平成22年6月1日現在で教育委員会における実雇用率は1.76%であり、法定雇用率（2.0%）はまだ達成できていない状況です。



障害者の雇用は、障害者も障害のない人も含めた社会全体の課題であり、教育委員会では、新たな職域の開発、受験資格の見直しなどの障害者雇用施策と併せて、障害のある教職員が働きやすい職場環境づくりが大切だと考えています。

このため、正確な状況把握が必要ですので、教職員の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

例年行っている「障害者在籍状況調査」にご協力をお願いします。

- ・調査時期 平成23年 6月
- ・調査対象 教育委員会事務局、教育機関、県立学校又は市町村立小中学校に在籍する教職員

○教員免許更新制について○

平成21年4月から教員免許更新制度が実施されております。制度導入以前に教員免許状を取得された先生方は、概ね次のスケジュールで、各自の修了確認期限までに所定の手続きを行う必要があります。更新講習受講免除や期限延期を行う場合も、同様のスケジュールで、その旨の申請が必要です。

教員免許更新手続きのスケジュール

自身の修了
確認期限等
の確認



大学等で
免許状更新
講習を受講
(30時間以上)

受講完了



徳島県教育
委員会へ修
了確認申請

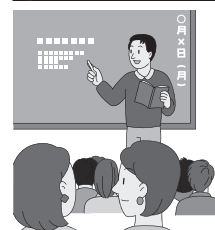
修了確認



修了確認
証明書の
受領

修了確認期限の2年
2ヶ月前から受講可

修了確認期限の
2ヶ月前までに申請



なお、現職教員が申請の期限までに修了確認等の申請を行わないまま修了確認期限を迎えると、免許状が失効し、失職することになりますので御注意ください。

教職の 誇りをもって コンプライアンス (コンプライアンス推進標語選定作品)

○コンプライアンス推進室から

■「コンプライアンスハンドブック」及び「コンプライアンスハンドブック ケース集」について

教職員みなさん、昨年度発行した「コンプライアンスハンドブック」をお読みいただけたでしょうか。職場での研修にも活用していただいていると思いますが、今一度じっくりと読んでみてください。すでに御存知の内容が多いと思いますが、あらためて、教職員に求められるサービスの根本原則を御確認ください。

さらに、今年度は、これを補足する資料として「コンプライアンスハンドブック ケース集」を作成し、「ハンドブック」と同様にpdfファイルとして、コンプライアンス推進室のホームページに載せてありますので、ぜひ、お読みください。「ケース集」はケース事例をもとに解説を加え、研修資料として使用しやすい工夫をしています。セルフチェックもできるようになっています。

次に内容の一部を紹介します。(ケース集 4頁 参照)

◇1 交通違反・事故のケース ケース1ー②(スピード違反の場合)

A教諭は、連休を利用して家族旅行に自動車で出かけ、法定速度時速50kmの国道を時速90kmで走行し、自動速度取締機に検知され、道路交通法第22条違反により検挙された。……

管理職がA教諭に確認したところ、検挙された事実を認め、校長に速やかに事情が報告されていなかった事実が明らかになった。

中略 (2) どのような責任が問われる可能性があるのでしょうか？

◇身分上の責任	減給又は戒告
◇行政上の責任	30日間の運転免許停止処分(過去3年間処分歴なしの場合)
◇刑事上の責任	道路交通法違反により懲役又は罰金

中略 (5) セルフチェックしてみましょう！

	項 目	ア	イ	ウ
1	「教職員の懲戒処分の指針(標準的な処分量定)」で示された交通違反・事故をした場合の処分を理解している。			
2	速やかにその事情を校長又は教育委員会に報告しなければならない違反や事故は何かを理解している。			
3	交通三悪とは何かを理解している。			
4	日ごろから交通ルールを守り、安全運転に努めている。			
5	交通違反は、法を犯す行為であり、事故などを起こした場合は刑事罰を受け、失職することがあることを理解している。			

(ア：はい イ：どちらとも言えない ウ：いいえ)



■公益通報制度について

公益通報制度は、教職員の不正行為等を早期に発見し、速やかに是正に繋げ、法令遵守を推進するためのものです。県教育委員会事務局・教育機関、県立学校の教職員について通報される方は、当コンプライアンス推進室まで、封書又はメールにより御連絡ください。

通報者の秘密を含め個人情報保護されます。

○通報窓口 徳島県教育委員会コンプライアンス推進室

○通 報 先〔封 書〕〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

「教育委員会コンプライアンス推進室(公益通報)」宛

※「親展」と記載してください。

〔メール〕compliancesuishinshitsu@mt.tokushima-ec.ed.jp

コンプライアンス推進室のホームページの「教職員不正行為等通報窓口」から入力できます。

なお、市町村立の学校の教職員については、該当の市町村教育委員会まで御連絡ください。

徳島県立みなと高等学園着工

1月27日、地元小松島市をはじめとする、多くの関係者の皆さんに参加していただき、「徳島県立みなと高等学園」新築工事の起工式を執り行い、工事に着手しました。起工式では、ご来賓の方々から、みなと高等学園の開校を待ち望んでいるというご祝辞をいただきました。



完成予想図

今回新築工事に着手した校舎棟には、普通教室、保健室、職員室、事務室などを配置し、体育館棟には、災害時に避難所として使用できるような設備も整備します。来年度に改修を予定しているハナミズキ棟（旧徳島赤十字病院5号棟）には、理科室、音楽室、各種実習室などの特別教室を配置します。

また、平成24年4月の開校に向け、ソフト面の準備も進めています。3月上旬には、出願方法や第2次募集などについて定めた「生徒募集選抜要項（素案）」を公表したところであり、制服についても、保護者やハナミズキ・プロジェクト関係者から成る制服制定委員会における審議を経て、先日、決定いたしました。

その他にも、就業体験先の開拓、教育課程の編成、校歌・校章の制定など、開校に向けた取組を着々と進めています。



新教育委員の紹介



つつい 筒井 直典 氏

山田喜三郎委員の任期満了に伴い、新教育委員に筒井直典氏が平成22年12月24日付けで就任しました。

【略 歴】

慶應義塾大学商学部卒業
グンゼ株式会社を経て、筒井製絲株式会社入社
現在、筒井製絲株式会社代表取締役社長、筒井産業株式会社代表取締役社長、阿讃開発株式会社取締役、四国放送株式会社取締役、徳島経済同友会幹事

「学校支援ボランティアハンドブック とくしま」

学校と地域をつなぐコーディネーターの連絡調整のもと、地域住民の方々による多様な学校支援ボランティア活動を展開する文部科学省委託事業「学校支援地域本部事業」に平成20年度から3年間取り組んできました。

（平成22年度：10市町11本部で実施）

この3年間の取組の成果と課題を踏まえ、地域住民の方々が学校支援ボランティア活動をはじめの際の留意事項及びボランティア活動の趣旨と取組例をまとめた「学校支援ハンドブック とくしま」を平成23年3月に作成しました。学校と地域の連携協力の推進に、御活用ください。



医療法人 山田眼科醫院

◎ 眼精疲労治療室開設

温湿布・冷湿布・ツボマッサージ・芳香療法などを取り入れた眼精疲労治療をおこなっています。

- ▶ 水晶体再建術
- ▶ 緑内障手術
- ▶ 企業検診
- ▶ 糖尿病網膜症・加齢黄斑症・緑内障などの定期検診もおこなっております。
- ▶ 角膜移植術
- ▶ 網膜復位術
- ▶ VDT検診

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～18:00	○	○	○	／	○	○

※土曜日の午後は13:30～17:30です。
※午後～予約可・入院設備有、急患随時受付

休診日 木曜午後・日曜・祝祭日

徳島市中通町2（えびす神社近く）

TEL 088-652-4843(代)

<http://www.eye-yamada.com/>

